

授業科目(ナンバリング)	ダイバーシティとグローバル市民論 (AB115)			担当教員	橋本健夫・※橋本優花里		
展開方法	講義	単位数	2	開講年次・時期	1年次後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
個々の尊厳が大切にされ、共に協力し合うことによって社会は成熟していく。このためには、互いの価値観や生き方を認め、それぞれの良さが伸ばせる仕組みを作ることが求められる。本授業においては、成熟な社会の構築に向けて市民に求められる多様性理解力や、社会の基盤を理解する力の育成を図る。							①④⑥
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	専門を生かす際に課題となる対人関係力の基盤を獲得する。				レポート及び授業中の発言	10%	
情報収集、分析力	課題に対する情報を的確に収集し、分析した上で活用する。				レポート及び授業中の発言	10%	
コミュニケーション力	他の受講生の意見を丁寧に聞き、それに対する自分の意見を述べるなど円滑に対話する事ができる。				授業での取り組み	20%	
協働・課題解決力	与えられた課題をグループで役割分担して調べ、解決に向けた討論ができる。				レポート及び授業中の活動	20%	
多様性理解力	社会における多様性を理解し、それを用いた発言や行動ができる。				レポート及び授業中の活動	40%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
本授業の前半は、予習課題が出され、その結果を活用しての意見発表や討議を行う授業展開となる。一方、後半は講義を聞いてレポートに纏めることが多い。従って、評価は、授業への取り組みやレポートが中心となる。予習レポートにはコメントをつけて返却し、授業に生かせるようにする。また、全員へのフィードバックは、授業開始時に行う。							
授業の概要							
授業の前半は、一人の教員が各授業のテーマに従って、課題を出し、それをもとにした意見発表等を行う授業となるが、後半は、授業テーマによって教員が替わる授業となる。従って、如何に講義を聞いて纏めるかが問われる。この授業の標準的な1コマ当たりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特にありません。 参考書：荒金雅子(2013)多様性を活かすダイバーシティ経営基礎編、日本規格協会 中村 豊(2017)ダイバーシティ&インクルージョンの基本概念・歴史の変遷及び意義、高千穂大学高千穂学会 指定図書：参考書と同じ							

授業外における学修及び学生に期待すること

よく耳にする言葉になってきたダイバーシティではあるが、理解している人は少ない。その意味をよく理解して実際の生活に活かせるようになって欲しい。また、生活を支えるセーフティネットの諸事項を身近に感じて、それらを十分に生かして欲しい。このためには、予習レポートを時間をかけて書き上げて欲しい。また、第1回目の授業の予習としてダイバーシティの意味を調べておいて欲しい。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	本授業の目標及び内容	本授業のオリエンテーションの時間である。目標を明確にするとともに内容や方法について説明する。また、ダイバーシティの意味を考え、共有する。 (橋本健・橋本優)	ダイバーシティの意味を調べる。
2	ダイバーシティ思潮の歴史	アメリカの公民権運動をきっかけにダイバーシティの考え方が誕生する。この経緯を理解する。 (橋本優・橋本健)	ジェンダーについて調べる。
3	現代社会の課題1	ジェンダーの考えを理解するとともに女性の社会進出について考える。 (橋本優・橋本健・ゲストスピーカー)	性のマイノリティについて調べる。
4	現代社会の課題2	性におけるマイノリティを理解するとともに共生を考える。(橋本優・橋本健・ゲストスピーカー)	様々な障害を持つ人たちについて調べる。
5	現代社会の課題3	様々な障がいを持つ人々を理解するとともに共生を考える。(橋本優・橋本健)	表に現れるダイバーシティと表れないダイバーシティを考える。
6	現代社会の課題4	ダイバーシティの中に表層的なものと深層的なものがあることを理解する。(橋本優・橋本健)	多様な人々の共生の方法を調べる。
7	ダイバーシティとインクルージョン、そして、共生社会へ(1)	各班で、多様性が存在する社会からそれぞれを活かした共生社会への転換を考え、まとめる。 (橋本優・橋本健)	発表方法を考え、工夫する。
8	ダイバーシティとインクルージョン、そして、共生社会へ(2)	各班が、共生社会の実現するための提言を発表する。 (橋本優・橋本健)	行政の役割について調べる。
9	社会のセーフティネット1	社会において行政が果たす役割を理解し、市民にとって最適な行政を考える。(橋本健・ゲストスピーカー)	社会における治安の仕組みを調べる。
10	社会のセーフティネット2	社会の治安の仕組みを理解し、市民の役割を考える。 (橋本健・ゲストスピーカー)	防災や緊急時における救助について調べる。
11	社会のセーフティネット3	社会の緊急時の救援体制について理解し、防災について考える。(橋本健・ゲストスピーカー)	消費生活を脅かす商法等を調べる。
12	社会のセーフティネット4	消費者としての留意点を理解し、生活の安全を考える。(橋本健・ゲストスピーカー)	電力の供給について調べる。
13	社会のセーフティネット5	電力の供給の仕組みを知り、その安定した供給について考える。(橋本健・ゲストスピーカー)	年金の仕組みについて調べる。
14	社会のセーフティネット6	年金の仕組みについて理解し、その活用を考える。 (橋本健・ゲストスピーカー)	安全・安心の社会構築に向けた市民の役割を纏める
15	安全・安心の未来社会の構築	安全・安心の社会構築に向けての市民の役割を班で考え、発表する。(橋本健・ゲストスピーカー)	課題レポートをまとめ、提出する。